

思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま

# 審議会からのコメントに対する 行政の回答・考え方





# 目 次

## 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- 目標(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります . . . . . 1
- 目標(2) 将来を見据えた健全な財政運営を行います . . . . . 7

## 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- 目標(3) 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちの子カヲを育みます . . . . . 13
- 目標(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます . . . . . 19
- 目標(5) 子育て・子育てを支える環境を整えます . . . . . 27

## 基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

- 目標(6) 産業を活性化して、まちを元気にします . . . . . 31
- 目標(7) みんなでまちをきれいにします . . . . . 35
- 目標(8) 自然と都市機能が調和した都市空間をつくります . . . . . 39
- 目標(9) 安全・安心が実感できるまちづくりを進めます . . . . . 43

## 基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- 目標(10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます . . . . . 47
- 目標(11) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します . . . . . 51

- 計画全般 . . . . . 53

# サンプル

## 目標（１）

まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります

### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b> 情報発信を積極的に行うことは良いことであるが、具体的にどのような発信をしていくかという具体例を挙げると良いのではないかと。広報以外で新しい情報発信の方法を考えるべきである。</p>	<p>コメントに対する回答及び考え方について記載しています。</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b> 市民が市のことに興味を持ち、市のことを知ることができるよう、市民と行政が接点を持てる機会をもっと増やすべきである。</p>	

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> まちづくり出前授業は今後も継続するのか？</p>	



## 2. 「この目標が目指す4年後のまちの姿」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【3つ目の◎】 職員一人ひとりが地域課題について考え、市民や地域の想いに寄り添いながら、課題の解決に取り組んでいます。</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p>
<p>委員からのコメント</p> <p><b>意見用紙</b> 職員の話が出てくるが、ちょっと唐突。なぜここで職員のことを記述するのか理由が必要。 中期の「市民とともに歩む職員の育成」を受けているものと思うが、前期・中期とのつながりが説明されていないので、「行政は市民とともに歩むためには」程度の枕詞を入れてもいいのではないか。</p>	<p>A. 素案を修正する場合 →素案を修正する理由及び考え方について記載しています。</p> <p>B. 原案どおり（素案を修正しない）場合 →原案どおり（素案を修正しない）理由及び考え方について記載しています。</p>

委員よりいただいたご意見を、

1. 目標全般に対するコメント
2. 「この目標が目指す4年後のまちの姿」に対するコメント
3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント
4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント
5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント
6. 掲載写真に対するコメント
7. 用語解説

の7つに分類しました。

1～6までのコメントに対する行政の回答・考え方、及び7. 用語解説の説明書きについて記載しています。

※7. 用語解説にある用語については、計画書巻末で解説を付けることで統一します。

## 目標（１）

まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります

### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>審議会での発言</b> 情報発信を積極的に行うことは良いことであるが、具体的にどのような発信をしていくかという具体例を挙げると良いのではないか。新しい情報発信の方法を考えるべきである。	情報発信として、広報・ホームページ・フェイスブックでの発信を強化するとともに、若者を対象とした対話の場などをつくっていきます。 具体的な内容については、アクションプランで記載することとし、計画本文では具体的な取組みにとられないよう抽象的な表現としています。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>審議会での発言</b> 市民が市のことに興味を持ち、市のことを知ることができるよう、市民と行政が接点を持てる機会をもっと増やすべきである。	総合計画後期基本計画策定時において実施した「たかはま未来カフェ」のような、市民と行政との対話の場を今後つくっていきます。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> まちづくり出前授業は今後も継続するのか？	まちづくり出前授業については、各学校の要望に応じ、実施していきたいと考えております。

## 2. 「この目標が目指す4年後のまちの姿」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【2つ目の◎】 “まちづくり”を行っています</p>	<p>A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/></p>
<p>委員からのコメント</p>	<p>用意されたまちづくりの場に参加するだけではなく、まちづくりに主体的に関わっていただきたいという思いから、自分にできるまちづくり活動を行っているという表現としています。</p>
<p><b>意見用紙</b> “まちづくり”に参加していますとした方が、協働性を表現できると思う。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【3つ目の◎】 職員一人ひとりが地域課題について考え、市民や地域の想いに寄り添いながら、課題の解決に取り組んでいます。</p>	<p>A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/></p>
<p>委員からのコメント</p>	<p>「この目標が目指す4年後のまちの姿」の中に目的を記述することは相応しくないと考えますので、原案どおりとします。しかし、ご指摘の点については、そのとおりだと思いますので、「<u>目標達成に向けての考え方</u>」の3つ目の◆を次のように見直すこととします。</p>
<p><b>意見用紙</b> 職員の話が出てくるが、ちょっと唐突。なぜここで職員のことを記述するのか理由が必要。 中期の「市民とともに歩む職員の育成」を受けているものと思うが、前期・中期とのつながりが説明されていないので、「行政は市民とともに歩むためには」程度の枕詞を入れてもいいのではないか。</p>	<p>◆<u>行政が市民とともに歩むためには、職員は自分に合った地域との関わり方を持つとともに、市民や地域から能力や人柄が認められ、必要とされる人材になることが大切です。</u></p>

### 3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【前文】	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	「住みやすいこと」は「いつまでも住み続けたい」という想いにつながるものと考えております。
<b>意見用紙</b> 中期計画の書きぶりを変えただけで、内容は同じ。 「いつまでも住み続けたい」のはなぜか？税金が安いから、福祉が充実しているから、便利だからなど人それぞれ理由はあろうけれども、まずは「住みやすいこと」が一番のような気がする。 考え方では、これを実現するためにどんなことが必要かを述べるのが良いと思う。 前文で理由を述べ、続く◆で①コミュニケーションが重要なこと、②一人ひとりのステージづくりが大切なこと、③求められる職員像を記述するのはどうか？	中期基本計画の考えと同様、市民に「いつまでも住み続けたい！」という想いを根付かせ、自分たちのまちのために行動できる市民、そして地域とともに課題解決に取り組むことができる職員を増やしていきたいと考えております。

該当箇所	行政の回答・考え方
【前文】 「つながるまちづくり」	市民・地域・行政がバラバラで、違った方向を向いてまちづくりを進めるのではなく、各々が持つ役割、強み・得意分野を活かし、連携を密にしながらまちづくりを行っていくことを示しています。
委員からのコメント	
<b>意見用紙</b> 具体的にはどういうことか。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の◆】 ステージをみんなで協力しながらつくり上げることが大切です	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	市民一人ひとりがまちづくりに主体的に関わっていただくことが大きな目標であると考えております。
<b>意見用紙</b> 作るだけでなく参加・参画してもらうことが大切なのではないか。	そのためのステージ（機会）を行政で用意するのではなく、土台となるステージづくりから市民に主体的に関わっていただくことを「目標達成に向けての考え方」として掲げております。



該当箇所	行政の回答・考え方
【3つ目の◆】 自分に合った地域との関わり方を持つ	職務上地域との接点のない職員、市外在住職員、仕事と子育てや介護を両立している職員など、仕事や暮らしの中で地域に関わることが困難な職員であっても、例えばまち協特派員に手を挙げたり、消防団に加入したり、市内イベントのボランティアに参加したりすることで地域との関わりを持つことです。
委員からのコメント	
意見用紙 具体的にはどうということか。	

#### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の☆】 仕組みの構築と積極的な情報発信	ご意見のとおり、市民の声を聞くためには、市民と行政とで対話を重ねながら、行政の想いや市の情報を伝えることが重要になってくると考えます。 その考えから、素案を「市民と行政がお互いの考えを理解できるよう、積極的な情報発信を行うとともに、対話の場をつくります。」に変更します。
委員からのコメント	
意見用紙 市民に伝えることが一番重要、次に行政はどう市民の声を聞くかになると思う。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の☆】 自分たちのできる“まちづくり”に取り組んでいくための環境づくりを進めます	平成27年度に策定したしあわせづくり計画の実践や、若者を対象とした対話の場などをつくっていくことで、環境づくりを進めていきたいと考えております。
委員からのコメント	
意見用紙 具体的な取り組みとは？	

#### 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
1) 市の情報発信に満足している人の割合	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	「市の情報が市民に届いていない」という不満の声を多くいただいていることから、満足度を測る指標を設定しております。 「この目標が目指す4年後のまちの姿」にあるように、“市政に対する関心・理解、満足感・納得感を高める”ことを目指す姿として掲げており、情報発信に関して市民の満足感を充足させることが、市政に対する関心度の高まりにつながると考えているため、原案どおりとさせていただきたい。
審議会での発言 情報発信に関しては、情報を受け取る側の関心の度合いが人によって異なるため、関心度合いを聞いてみるのも良いのではないかと。	

該当箇所	行政の回答・考え方
2) 地域活動に参加したことがある人の割合	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	<p>期間の範囲としては、「これまでに地域活動に参加したことがある人」と考えております。</p> <p>前期・中期と同様の指標としており、「これまでに」という旨の注釈を入れた場合、値にぶれが生ずるおそれがあるため、原案どおりとさせていただきたい。</p>
<p>審議会での発言</p> <p>1年間でのことなのか、今まででのことなのか、期間の範囲がわからない。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
3) 職員が地域に出て活躍していると思っている人の割合	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	<p>後期基本計画では、職員の地域との関わり方について次のステージに移行させる必要があると考え、この指標に変更しましたが、少しハードルが高いとも感じていましたので、「<u>市民と一緒に地域活動に取り組んでいる職員の割合</u>」に変更します。</p> <p>なお、今後、職員が地域に関わる「きっかけづくり」から「地域を知り」、そして「課題発見・解決」までを段階的に実践する研修プログラムを企画・運用することを目指します。</p>
<p>審議会での発言</p> <p>職員が地域課題解決に向けて一緒になって考えるというのは非常にわかりやすい。地域に出て、地域活動に関わっている職員の実数を拾った方がよいのではないかと。職員が市民からどう見えているかは後の話であり、見え方を聞くよりも実際に働いている職員数を増やすことの方が大事である。そのためには研修システムなど、職員が地域に関わっていくための導きが必要である。</p>	

## 7. 用語解説

用語	説明書き
ワークライフバランス	「仕事と生活の調和」の意味で、働きながら私生活も充実させられるように職場や社会環境を整えること。調和の取れた生活は心を満たし、仕事でのモチベーションを高め、職員の能力をより引き出します。
「働き方」改革	組織としての仕事の仕方（ムダの排除など）を見直すことで、生産性の向上を図り、その結果として長時間勤務の改善が図られること。



## 目標（２）

将来を見据えた健全な財政運営を行います

### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b> 「総量圧縮」という言葉があるが、何年後にはこうしていくといったことを明確にしてはどうか。</p>	<p>ご意見のありました総量圧縮にかかる何年後といった時期につきましては、公共施設総合管理計画の公共施設推進プランにおいて小学校区別等で、どの施設をいつの時期に機能移転するといったことを明記しています。この公共施設推進プランは市のホームページで公表していますので、ご参照ください。</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b> 公共施設総合管理計画の中で、総量圧縮は前提のようにになっているが、総量圧縮という言い方ではなく、適正な配置数を求めるということではなかったのか。結果的には総量圧縮にならざるを得ないと思うが、必要不可欠なものに再配置し直すという意味においては、総量圧縮という言い方は少し乱暴であるように感じる。</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>審議会でのご意見を踏まえ、「公共施設の機能複合化による総量圧縮」という表現を、将来の財政状況を見据え、学校を核とした施設配置を行うということで、「機能複合化による公共施設の再編」に変更します。また、施設数を減らすために総量圧縮を図ると捉えられてしまうことから、持続可能な財政運営が行えるよう身の丈にあった施設を再配置するとし、<u>「総量圧縮」を「再編」という表記に変更</u>します。</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> 項目建ての順番は、財政運営の記述から始まり、情報発信で終わるのがスムーズのような気がする。 （「目標達成に向けての考え方」はそのような順番になっている。）</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>高浜市自治基本条例に掲げるまちづくりの基本原則は「参画」「協働」「情報共有」であり、その「情報共有」が重要であると考え、「情報発信」を最初に記載していますので、原案どおりとします。</p>



## 2. 「この目標が目指す4年後のまちの姿」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◎】 税金に関する情報	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	「高浜市は税金が高い」と誤解している市民が少なからずみられるため、財政運営の根幹となる税金に関する情報も発信することとしていますので、原案どおりとします。
<b>意見用紙</b> ここでとりわけ「税金」を出す理由が分からない。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◎】	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	ご意見をふまえ、「この目標が目指す4年後のまちの姿」の1つ目と「目標達成に向けての考え方」の1つ目を入れ替えます。
<b>意見用紙</b> 「この目標が目指す4年後のまちの姿」の1つ目と「目標達成に向けての考え方」の1つ目は逆ではないか。市の財政運営に対し理解を深めてほしいから、情報をタイムリーに発信する必要があるのではないか。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【3つ目の◎】 公共施設総合管理計画	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	現在の長期財政計画は、機能の複合化による再編、改修による長寿命化等の削減効果等をすべて見込んだ上に成り立っている計画で、公共施設総合管理計画の推進は健全な財政運営を維持していくために欠かせないことから、原案どおりとします。
<b>意見用紙</b> 財政運営では長期財政計画の執行が第一で、公共施設総合管理計画は歳出面での一要素だと思う。ここでとりわけこの話題を出すのはこだわりすぎだと思う。	

### 3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【前文】	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	「目標達成に向けての考え方」における歳入の記述は、前文と二つ目の◆に記載しています。また、どのように歳入を増やしていくかは、「こんなことに取り組みます！」に記載していますので、原案どおりとします。
<b>意見用紙</b> 歳入に関する記述がない。歳出の増加を殊更述べるだけでは、歳入に関する取組みが生きてこない。人口減少に向かうまでに、どう歳入を増やしていくかが今後は重要になってくる。この辺の記述も必要。	

### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の☆】 ・市民の知りたい財政情報 ・積極的に発信します	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な情報発信については、アクションプランでお示ししますので、原案どおりとします。</li> <li>ご意見をふまえ、「市民の知りたい財政情報を積極的にわかりやすく発信します。」に変更します。</li> </ul>
<b>意見用紙</b> ・市民に知らせたい情報もあるはず。どう発信していくかを具体的に記述する。 ・積極的な情報発信はいいのだが、“わかりやすく”という観点はなくていいのか？	

該当箇所	行政の回答・考え方
【3つ目の☆】	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	持続可能かつ安定的な財政運営を図っていくためには、公共施設の再編等の財政健全化への計画的な取組みが欠かせません。また、公共施設の再編は、学校、都市機能、生涯学習など多岐な分野にわたることから、財政運営の視点から、目標2にまとめて記載していますので、原案どおりとします。
<b>意見用紙</b> 財政で述べることは疑問。都市機能のあり方の中で、公共施設はどうあるべきかという視点で述べた方がわかりやすい。	

## 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
1) 経常収支比率	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	<p>• 一般的に財政用語はわかりにくいのが現状ですが、他市事例をみても、経常収支比率の採用率は高く、健全度を示す指標として適切と考えます。なお、経常収支比率にはわかりやすく注釈をつけます。</p> <p>• 平成 28 年度の経常収支比率は、大企業の特別な利益による税金を加味した比率となっており、実質的な比率とはいえないため、過去5年間の平均を現状値としていますので、原案どおりとします。</p>
意見用紙	
<p>• 財政の健全度を表す指標として、もう少しわかりやすい指標がないか。</p> <p>• なぜ現状値を直近5年間の平均値としているのか。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
2) 市の財政に関心のある人の割合	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	<p>ご意見をふまえ、「将来を見据えた健全な財政運営を行っている」ことに対する市民の理解を深めることが大切であることから、指標2)「市の財政に関心のある人の割合」を「将来を見据えた財政運営が行われていると思う人の割合」に変更します。</p>
審議会での発言	
<p>関心の有無だけではなく、市民の理解度を測る指標としてはどうか。</p>	

委員からのコメント	行政の回答・考え方
意見用紙	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
<p>公共施設の総量圧縮を測る指標として「公共施設の数」を指標に設けてはどうか。</p>	<p>総量圧縮の指標として、施設数ということも考えられますが、公共施設のあり方の取組みは、インフラ施設を含めた今後の取組みであるとともに、長寿命化の考えもあります。一概に施設数を指標とするには、こうした取組みが指標に表れませんので、原案どおりとします。</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
意見用紙	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
<p>自分の税金がどう使われているかを知ること重要だと思うので、情報発信の頻度、量を測る指標を加えたらどうか。</p>	<p>「何をしたか」という活動指標（アウトプット）ではなく、「どういう成果」があったかという成果指標（アウトカム）として、指標2「市の財政に関心のある人の割合」を「将来を見据えた財政運営が行われていると思う人の割合」に変更しますので、情報発信の頻度、量を測る指標への変更はしません。</p>

## 6. 掲載写真に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> 写真が中学生向けの取組みばかりなのは、何か意味があるのか？</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>「わかりやすい財政」をイメージして、「中学生総合学習の様子」と「市の予算の家計簿への置き換え」を表示していますが、「市の予算の家計簿への置き換え」は中学生にもわかる財政という位置づけで作成しておりますが、中学生向けとは限らないため、「中学生向け予算資料」という字句を削除します。</p>

## 7. 用語解説

用語	説明書き
機能複合化	1つの施設で異なる公共サービスを提供すること。
社会保障関連経費	医療や年金、介護など社会保障の経費のこと。
受益者負担の適正化	市が提供するサービスに必要な費用は、市税などを財源として広く市民が負担しています。そこで、サービスを利用する方としない方との公平性を確保するために、使用料や手数料の適正化をはかることをいいます。
経常収支比率	<p>家計に例えると、給料などの経常的な収入に対する、食費や家賃などの生活費や教育費などの経常的な支出の割合のことをいいます。この割合が大きくなると、急な出費が必要になったときに弾力的な対応をすることができなくなります。自治体におけるこのような財政の弾力性の度合いを判断する指標のひとつが経常収支比率です。比率が高いほど財政構造の弾力性が失われつつあるといえます。</p> <p>(算式)</p> <p>(人件費や扶助費のように経常的に支出する「経常的経費充当一般財源」/ 税金など経常的に収入する「経常一般財源」) × 100</p>

1. 總論  
2. 第一屆年會  
3. 第二屆年會  
4. 第三屆年會  
5. 第四屆年會  
6. 第五屆年會  
7. 第六屆年會  
8. 第七屆年會  
9. 第八屆年會  
10. 第九屆年會  
11. 第十屆年會  
12. 第十一屆年會  
13. 第十二屆年會  
14. 第十三屆年會  
15. 第十四屆年會  
16. 第十五屆年會  
17. 第十六屆年會  
18. 第十七屆年會  
19. 第十八屆年會  
20. 第十九屆年會  
21. 第二十屆年會  
22. 第二十一屆年會  
23. 第二十二屆年會  
24. 第二十三屆年會  
25. 第二十四屆年會  
26. 第二十五屆年會  
27. 第二十六屆年會  
28. 第二十七屆年會  
29. 第二十八屆年會  
30. 第二十九屆年會  
31. 第三十屆年會  
32. 第三十一屆年會  
33. 第三十二屆年會  
34. 第三十三屆年會  
35. 第三十四屆年會  
36. 第三十五屆年會  
37. 第三十六屆年會  
38. 第三十七屆年會  
39. 第三十八屆年會  
40. 第三十九屆年會  
41. 第四十屆年會  
42. 第四十一屆年會  
43. 第四十二屆年會  
44. 第四十三屆年會  
45. 第四十四屆年會  
46. 第四十五屆年會  
47. 第四十六屆年會  
48. 第四十七屆年會  
49. 第四十八屆年會  
50. 第四十九屆年會  
51. 第五十屆年會  
52. 第五十一屆年會  
53. 第五十二屆年會  
54. 第五十三屆年會  
55. 第五十四屆年會  
56. 第五十五屆年會  
57. 第五十六屆年會  
58. 第五十七屆年會  
59. 第五十八屆年會  
60. 第五十九屆年會  
61. 第六十屆年會  
62. 第六十一屆年會  
63. 第六十二屆年會  
64. 第六十三屆年會  
65. 第六十四屆年會  
66. 第六十五屆年會  
67. 第六十六屆年會  
68. 第六十七屆年會  
69. 第六十八屆年會  
70. 第六十九屆年會  
71. 第七十屆年會  
72. 第七十一屆年會  
73. 第七十二屆年會  
74. 第七十三屆年會  
75. 第七十四屆年會  
76. 第七十五屆年會  
77. 第七十六屆年會  
78. 第七十七屆年會  
79. 第七十八屆年會  
80. 第七十九屆年會  
81. 第八十屆年會  
82. 第八十一屆年會  
83. 第八十二屆年會  
84. 第八十三屆年會  
85. 第八十四屆年會  
86. 第八十五屆年會  
87. 第八十六屆年會  
88. 第八十七屆年會  
89. 第八十八屆年會  
90. 第八十九屆年會  
91. 第九十屆年會  
92. 第九十一屆年會  
93. 第九十二屆年會  
94. 第九十三屆年會  
95. 第九十四屆年會  
96. 第九十五屆年會  
97. 第九十六屆年會  
98. 第九十七屆年會  
99. 第九十八屆年會  
100. 第九十九屆年會  
101. 第一百屆年會



## 目標（3）

### 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます

#### 1. 目標全般に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【目標フレーズ】	○目標フレーズを見直しました。  ○「まちのチカラ」とは、市民一人ひとりが持っている個々の力（知恵・知識・特技・体験など）、市民同士・団体同士が学び合いや交流といった活動を通して培った総合力、住んでいるまちをよりよくしたいといった思い（まちへの愛着・誇り）など、人づくりやまちづくりの土台となる力（まちづくりの原動力）を総称して表現しています。  ○目標フレーズは簡潔な表現が求められるため、「目標達成に向けての考え方」に「まちのチカラ」が意味するところを記述しました。
委員からのコメント	
<b>意見用紙</b> 「人と」とは誰のことか、「まちのチカラ」の意味するところが分からない。	

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>審議会での発言</b> 「学び」という表記について、目標フレーズでは漢字表記、文中ではひらがな表記で書かれているが、何か理由があるのか？	○「学び」で統一します。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>審議会での発言</b> 生涯学習の市民連続講座などの計画はないのか。	○趣味・教養型の学びの場（自己実現型の学び）は、市民・地域・関係機関・事業者など様々な主体が行っているため、行政で実施することは考えていません。  ○課題解決型の学びの場（地域課題の発見や解決につなげる力を身につける学び）の必要性は感じていますが、必ずしも「講座」形式とは限りませんが、上記主体と連携・協力し、実施を検討していきます。

## 2. 「この目標が目指す4年後のまちの姿」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◎】 子どもから大人まで、ともに成長しています	○「子どもから大人まで、ともに」を「子ども・若者や大人がともに」という表現に修正しました。
委員からのコメント	○教える（＝個人が培ってきた知恵・特技・体験等を人づくりに活かす）ことで、教えた相手から学ぶことも多くあり、お互いの力を高め合う相互作用の効果があることから「ともに成長しています」という表現をしています。
<b>意見用紙</b> 何が成長しているのか？そしてどうなるのか？実感がわからない。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目・3つ目の◎】 「まなび」、「先人たちのあゆみ」、「自慢」	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	○必要に応じて「用語解説」の欄で説明します。
<b>意見用紙</b> 語句の意味が分からないので、定義をどこかで記載する必要がある。	

## 3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【前文】	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	○生涯学習のねらい、目標達成に向けての考え方がわかりやすく伝わるように、別添素案のとおり記述内容を見直しました。
<b>意見用紙</b> ・「するとともに」で二つの行為を一文で表現しているが、分けた方が分かりやすくはないか？ ・何のために、機会を創出するのか、動きにつなげていくのかが分からないので、この目標（3）でやろうとしていることの目的を明確にする必要があると思う。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目から3つ目の◆】	A. 素案を変更します B. 原案どおりとします
委員からのコメント	○別添素案のとおり、全般的に記述内容を見直しました。
<p>意見用紙</p> <p>なぜ「つなげていく」ことが重要なのか、なぜ「創出していくことが」大切なのか、なぜ「広げていく」ことが必要なのか、が分からない。また「主語」が市民なのか、行政なのかははっきりしない。</p>	<p>○取組みではなく考え方を示しているため、あえて「誰が」という主語は記述していません。総合計画は「みんなで考え、みんなで行動する計画」であることから、行政、市民、地域、関係機関、事業者などと力を合わせて取り組んでいきます。</p>

#### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の☆】	○「将来に向けて」という文言を削除しました。
委員からのコメント	○「守り」とは、例えば、まちの歩みを知ることができる貴重な資料等の散逸・消失を防ぎ、将来へ伝えていくために適切に保存・修復等を行うことを意味しています。
<p>意見用紙</p> <p>「将来に向けて」とは高浜市のことか、また「守り」とは何を守るのか判然としない。</p>	<p>○まちづくりを行っていく上で、先人たちがどのような歴史を歩んできたのかを知ることが欠かせません。しかし、産業の移り変わりや人々の暮らしなど、高浜市の成り立ちやあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や、人々の中にあるまちの記憶を記録にとどめる作業は十分に行われているとは言い難く、資料等の散逸・消失を防ぐことが大きな課題となっています。資料等は市民の共有財産であり、今を生きる私たちだけでなく、未来を生きる市民（将来の市民）にとっての財産でもあります。貴重な資料等が失われてしまう前に、これまで歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かしていく活動が重要であると考え、まちの魅力・自慢を「掘り起こし、守り、伝え、活かしていく」と表現しています。</p>



該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の☆】 活動を強化	<p>○具体的な取組みの一つが「市誌編さん事業」です。目的は、まちのあゆみを1冊の本にまとめることではありません。歴史等の専門家だけで調査・執筆を行うのではなく、資料の掘り起こしや調査・編集・普及活動を市民の皆さんとともにすることを大切にしています。進捗状況を発信し、成果を分かち合うことにより、多くの方々に対する興味・関心を高めていただけるよう、また、持っている特技や体験などを活かしていただき、魅力・自慢を伝えたい、活かしたいといった動きが広がっていくように工夫していきます。</p> <p>○ほかにも「タカハマ！まるごと宝箱」、「かわら美術館の運営」、市民・地域で行われている伝承活動などの取組みも含まれます。</p>
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b></p> <p>「タカハマ！まるごと宝箱」が具体的な取組みの1つかと思うが、どのように“活動を強化”していくのか？</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の☆】 子ども・若者を応援する取組み	<p>○取組みの例として「たかはま夢・未来塾事業」があります。ロボット製作やディベートなどの各種講座を通じて知識・技能等を習得したり、好奇心や意欲を伸ばすだけでなく、協力し合うことの大切さ、支え手である大人（保護者・サポーターなど）への感謝の気持ちが育まれる、卒業後に活動を担う側に回るといった、様々な効果が生まれています。また、子どもたちから思いもよらない発想が生まれることも多々あり、支え手である大人の成長にもつながるといった効果もあります。今後導入されるプログラミング教育などの新たな動向を見据え、子どもたちの個性や能力を伸ばすための新企画を検討していきます。</p> <p>○このほか、図書館事業（絵本・児童図書や読み聞かせ活動の充実など、子どもの育ちを支える機能の重視）や、まちづくり協議会をはじめとする市民団体が実施している、子ども・若者の好奇心や意欲の高まりにつながる事業・講座・体験活動なども含まれます。</p> <p>○目標（3）生涯学習は全世代を対象としています。目標（4）学校教育と目標（5）子育て・子育ては、特定の世代を中心対象としています。各部門は互いに連携・分担しながら取組みを進めています。</p>
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b></p> <p>具体的にはどういうものか？教育部門や子ども部門との横の連携はどう考えているか？</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
【3つ目の☆】	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A. 素案を変更します</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B. 原案どおりとします</span> </div>
委員からのコメント	<p>○今後の生涯学習分野での課題として「生涯スポーツ振興」は重要な課題であることから、「こんなことに取り組みます！」に掲げています。「<u>目標達成に向けての考え方</u>」の中で、<u>生涯スポーツ振興の重要性についても記述します。</u>〔素案を変更〕</p> <p>○スポーツ・レクリエーションに関する指標は、目標 11（健康）の「日常的に外出や運動を楽しんでいる人の割合」（前期・中期は「日常的に運動やスポーツを行っている人の割合」）で把握をしています。〔原案どおり〕</p>
<p><b>意見用紙</b></p> <p>ここで「スポーツ・レクリエーション」がでてくる脈絡が読めない。また、指標に「スポーツ・レクリエーション」関連のものが無いのが気になる。</p>	

## 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
2) 将来の夢・希望・目標を持っている子どもの割合	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A. 素案を変更します</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B. 原案どおりとします</span> </div>
委員からのコメント	<p>○指標の名称は原案どおりとします。</p> <p>○「小・中学生アンケート」実施の際に、子どもたちが回答しやすいように、設問を工夫します。</p>
<p><b>審議会での発言</b></p> <p>「希望・目標」という言葉をもう少し具体的にすることはどうか。</p>	

今宵の星は 遠き星の心の中を 今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を 今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を 今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を 今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を 今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を 今宵の星は 遠き星の心の中を

今宵の星は 遠き星の心の中を 今宵の星は 遠き星の心の中を

## 目標（４）

学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます

### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b> 子どもたちに高浜市に愛着を持っていただけるように、市の歌やカルタなどで、市にはこんなところがあるんだということを伝えてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・高浜の人・もの・ことを学ぶ高浜カリキュラムは、年間数十時間のカリキュラムを12年間かけて計画的に学ぶ構想です。その学びの中で、高浜のひと・もの・ことに愛着や誇りをもち、自分のできることを考え実践することに意義があります。</li><li>・高浜カリキュラムを通して、知識や技術を身につけ、それを生かす思考力や表現力を高めた子どもが、歌やカルタを作り、自分の学びを見直したり、表現したりすることは愛着を深める一つの手だてになると言えます。また、それらはこれから高浜カリキュラムを学ぶ下級生の導入の一つにもなり得ます。すでに、これまで行ってきた総合的な学習の時間では、学んだことを盛り込んだ歌やカルタを作成した例もあり、有効な手段の一つとして定着しています。</li><li>・委員からのコメントにあるのは、子どもが作成したものでなく、「大人」が作成したものを与えて、子どもにさせてはどうかということだと考えます。（「大人」の中に、募集などで集めた子どもが入ることも考えられますが、学校とは別の組織で作成するということだと考えます。）先ほど述べたように導入部分では使える手だてであり、悪くはありませんが、学校の時間は限られており、その中で教える内容は決められています。さらに、身につける知識や技術の量は大変多く、学校に求められることも増加する一方で、カルタなどの内容が、子どもに溶け込むまで繰り返し歌ったりカルタを行ったりする時間を確保することは不可能に近いのが現状です。子どもの思考や、作成の過程がないものに、学習カルタがありますが、これを時間内に取り入れるのも簡単なことではありません。</li><li>・しかし、学校外の組織で歌やカルタをつくることを否定するわけではなく、「学んだことを歌やカルタを作って伝えたい」という強い思いを子どもがもち、学校外の組織と協力してつくることは意味</li></ul>



	<p>があり、すでに取り組んだ例もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以上のことから、学校経営グループとしては、今後も学校とは別の組織が作った歌やカルタを与えるのではなく、「市にはこんなところがあるんだ」ということを自ら伝えたいと願うように単元構想を練り、高浜に対する誇りや愛着を育むことを目標にしていきます。そのため、今後も様々な可能性を模索していきます。</li> </ul>
--	---

## 2. 「この目標が目指す4年後のまちの姿」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
全体	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>「連携を深め」る姿を打ち出せるよう、別添素案のとおり全体的に記述内容を修正します。</p>
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b></p> <p>目標フレーズにある「連携を深め」る姿がどこにも出てこない。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◎】	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>別添素案のとおり、子どもを中心とした「この目標が目指す4年後のまちの姿」となるよう、記述内容を修正します。</p>
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b></p> <p>指標は子どもが対象であるが、教師が初めに出てきており、違和感がある。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【2つ目の◎】</p> <p>高浜市の伝統・文化等を学び、高浜市の良さを感じながら成長している</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>別添素案のとおり、記述内容を修正します。</p>
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b></p> <p>内容が個別目標(3)と重複していないか。</p>	

### 3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◆】	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>A. 素案を変更します</span> <span>B. 原案どおりとします</span> </div>
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b></p> <p>「学びをつなぐ」の意味するところが表現されていないので、どのようにつなぐのか理解できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「学びや育ちをつなぐ」のは、「生きる力」（確かな学力・豊かな人間性・健康、体力）を育むためです。この中から「確かな学力」＝（基礎基本を身につけ、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力）に焦点をあて、学習をつなぐ意味やよさの例をあげます。</li> <li>• 例えば園での植物のタネまき、世話、収穫の行為一連が、生き物に興味を抱かせ、「測定・予測・考察」といった科学的な営みの下地になり、小学校生活科のアサガオ観察、3年生の初めての理科、中学校の高いレベルの理科につながります。教員は「ねらい」等の情報交換をし、つなぎ方を考え、子どもの力を引き出します。</li> <li>• 具体的には、小学校の教員が、生き物を観察する楽しさを園で育んだ子に、比較の手法を学ばせたい時、比較の手法を示したり、考えさせたりします。「ものさし」を刺して昨日との違いを比べる、出た葉っぱに番号をつける、真上から見て葉のつき方に気づかせる等を行います。そして、「次に葉が出る場所はどこだろう」と投げかけ「予測」する力にもつなげます。また、視点を増やすために、「地面を掘って根を観察しよう」と内部の構造を予測する力にもつなげます。さらに葉が丸まったら原因を考えようと投げかけ「考察する」力も育みます。</li> <li>• また、子どもが「学びはつながる」という意識をもつと知識や思考力が高まります。例をあげると、小3の植物の体のつくり「根・茎・葉」の単元において、園でのサツマイモを育て収穫した体験が根・茎・葉のどこを大きくしたのかを考える起点になります。そしてサツマイモ以外の野菜についても園で育てた経験を思い出し、そこから興味を広げることができます。興味を広げた子は、図鑑や専門家などから、「キャベツとブロッコリーがもとは同じ」等という知識を得ることがあるかもしれません。そして、キャベツは葉を食べ、ブロッコリーは花やつぼみを食べる、では他の野菜やイモはどの部分を大きくしたのだろう、なぜ、キャベツは葉が広がらず、丸くなるのだろう、もと</li> </ul>

	<p>の植物からどのような理由で変化したのだろうか 自ら課題を見つけ、自ら考え、専門家に尋ねたり、 文献で調べたり、観察や実験などを工夫したりし て、確かな学力を育むことができるのです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校・家庭・地域の大人は、お互いに情報交換等 をして「子どもの学びや育ち」を理解し、子ども の学びや育ちを認めたり、褒めたりしてさらに学 ぶ意欲を育てることが重要です。認められたり、 褒められたりしながら子どもは学ぶ意欲を育み、 十分学べる環境で広く深く学び、人や地域のため に自分にできることを考え、実践できるように成 長します。</li> <li>• このように、学校・家庭・地域が子どもの学びを 理解し、子どもの学びを認め、子どもを育てた環 境を理解し認めることで、互いにつながり、連携 できるのです。また、子どもの現状を見極め、適 切な学びが展開できるように協力して環境を整え ることで、子どもは自分自身の学びをつなげ、深 く広い学びへと進むことができるのです。</li> </ul> <p>以上のことが伝わるように、素案を変更します。</p>
--	---

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の◆】	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">A. 素案を変更します</div> B. 原案どおりとします
委員からのコメント	別添素案のとおり、記述内容を修正します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見用紙</div> <p>1つ目と3つ目の◆は「・・・には」と目的が明記されているが、ここではそれが無いので、何のために「推進する」のかがあいまいとなっている。</p>	

#### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の☆】	
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b>            教職員同士が情報交換を密にすることと子どもたちの交流を行うことが、どうして発達段階に応じた教育になるのか分からない。</p>	<p>☆異校種間連携事業で、自分や周りのよさに気づいたり、よさを生かしたりできるよう、支援します。また、異校種参観で教師力を向上させ、こどものよさを引き出す指導を展開します。</p> <p>【子ども同士の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生は、単に年齢が上ということではなく、交流で、下級生のために自分のできることを考え実践するため、「先輩」になることができます。その時、思考力、表現力、実践力などが高まります。</li> <li>・下級生は、先の見通しができ、憧れや目標をいただき、自分にできることを実践しようとすることができます。</li> <li>・自分にできることを考え実践する姿は、自己有用感を高めるとともに、周りから認められたり、周りを認めたりすることにつながり、学ぶ意欲を高めます。</li> </ul> <p>【教員同士の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に対する子どもへの理解が深まるので、認めたり褒めたり励ましたりすることができ、適切な教育が施せます。</li> <li>・互いの教育観や指導方法への理解が深まるので、上級学校の教員は、園や小学校の教員が施した教育の意図を受け継いだり、発展させたりできます。また、園や小学校の教員は、上級学校での子どもの様子や教員の指導方法を理解することで、先の見通しをもち、適切な教育を施すことができます。</li> </ul>

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の☆】	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p>
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b>            “ICTを活用した授業と高浜版プログラミング教育”が急に出てくる印象があり、つながりがよく分からない。</p>	<p>別添素案のとおり、“ICTを活用した授業と高浜版プログラミング教育の実践”を単独の項目建てとします。</p>



該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の☆】	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">A. 素案を変更します</div> B. 原案どおりとします ----- 別添素案のとおり、項目を別建てとします。
委員からのコメント	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見用紙</div> 高浜カリキュラムの実践と高浜版プログラミング教育は別建て(文章を切る)にすべき。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【3つ目の☆】	承知しております。
委員からのコメント	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">審議会での発言</div> 特別支援教育は健常児の教育にもつながる。支援が必要な子どもや教員だけでなく、健常な子どもや保護者に向けて広く捉え、内容を充実させてほしい。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【3つ目の☆】	教師力は、一言で言えば「子どもを躍動させる力」
委員からのコメント	であり、その力が向上すれば、子どもがいきいきと成長できるのです。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見用紙</div> 教師力の向上がなぜ必要なのか理解できない。そもそも教師力の向上とは何？	

## 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
1) 学習に積極的に取り組む子どもの割合	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A. 素案を変更します</span> <span>B. 原案どおりとします</span> </div>
<b>委員からのコメント</b> <b>意見用紙</b> 「この目標が目指す4年後のまちの姿」のどれを測る指標なのかわからない。	指標が「この目標が目指す4年後のまちの姿」・「目標達成の向けての考え方」・「こんなことに取り組みます！」と結びつくよう、別添素案のとおり指標を修正します。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 2つの指標とまちの姿や考え方、取り組みとが結びつかない。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A. 素案を変更します</span> <span>B. 原案どおりとします</span> </div> 上記回答に同じ。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 「この目標が目指す4年後のまちの姿」の2つ目に記載のある、“地域との関わり”を測る指標を設けてはどうか。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A. 素案を変更します</span> <span>B. 原案どおりとします</span> </div> 地域との関わりを測る指標として、指標2)「地域や社会に関心をもつ子どもの割合」を設けます。

## 7. 用語解説

用語	説明書き
自己有用感	自分が役立つ存在だと自覚し、周りに認められていると実感していること
ICTの活用	プロジェクターやコンピューター、ビデオカメラ等の機器を使い、子どもの学習への意欲・関心を高め、わかりやすい授業を行うこと
特別支援ファイル	児童・生徒がよりよい環境で学習・生活をできるように、支援情報を保護者や関係機関で共有するためのもの
異校種間連携事業	子どもが中心となって、互いに催しや行事を通して交流したり、催しや行事を企画したりする取組みのこと
周りのよさ	自分に関わる人・もの・ことのよさ
異校種参観	幼・保、小、中の教員が、互いの授業や保育を参観し、教育観や指導方法などについて情報交換し、理解を深める取組みのこと
高浜カリキュラム	探究力・表現力・実践力を身につけることを目指し、園・学校のそれぞれの実態に応じて、園では、食育、身近な人、小学校では、生活科で「花や野菜を育てよう」「安全を守る人」「昔のあそび」「地域のお年寄り」「新一年生・一年前のわたし」「街のたからもの・街のすてきな人」などを学び、総合的な学習の時間で「高齢者、障がいのある方、福祉ボランティア、盲導犬」、「環境を守る人・身近な自然環境」、「市役所都市防災 G・町の防災対策」、「まち協、安全を守る人・施設」、中学校で「キャリア教育・各種職業に携わる人・事業所」「高浜市長・高浜市行政職員・地域の人々」などを学ぶ高浜の人・もの・ことに焦点をあてた学習のこと。年間数十時間の単元構想をたて、計画的に12年間かけて学ぶ
高浜カリキュラム教科版	優れた授業実践を集積した単元構想や指導案集
高浜版プログラミング教育	地域資源（たかはま夢・未来塾）と連携したプログラミング教育のこと

## 目標（５）

### 子育て・子育てを支える環境を整えます

#### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 待機児童ゼロへの目途はあるか。	今後、跡地利用や公立幼稚園の活用等により、待機児童ゼロを目指し、対策を進めてまいります。

#### 2. 「この目標が目指す４年後のまちの姿」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【１つ目の◎】 産み育てられるよう・・・職場環境が整っています	A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします 「よう」を削除します。
委員からのコメント	
<b>意見用紙</b> 「産み育てられる」環境が整っているのでは？「よう」は不要ではないか。	



該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の◎】 子どもの遊びや成長を温かく見守る視点が常に共有されています	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	2つ目の☆「子どもの想いを理解し、子どもの視点に立って、子育て・子育てを支える大人を増やしていきます。」とつながっています。
意見用紙 これはどの「目標達成に向けての考え方」とどの「こんなことに取り組みます！」とつながっているのかが見えない。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の◎】	「道路や公園でボール遊びができない。」「思いっきり遊べる場がない」といったような子どもの声を周りの大人が、自分たちの育った環境との違いを理解し、大人の目線ではなく、子どもの視点に立った見守りをしていただけるようになることを期待しています。
委員からのコメント	
意見用紙 “子どもの目線を大切にし”とはどういう意味か？また、「こんなことに取り組みます！」の2つ目の☆にある“子どもの視点に立って”とはどういう意味か。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の◎】 身近な大人が	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	身近な大人をはじめ、多くの大人にも理解していただきたいので、「 <u>身近な大人をはじめ、市内の大人が</u> 」に変更します。
意見用紙 身近な大人だけでよいのか。	

### 3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【前文】	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	「子どもが健やかに遊び、成長し、また、保護者が安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て・子育てを総合的に支援する環境を整えていきます」に変更します。
意見用紙 目標を達成するためには、総合的に支援することと環境を整えることの二つが必要であると読んでよいのか？ そうであるならば、そのように読める文章にした方がよいのでは。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【前文】 企業なども積極的に関わり	<p>国は、企業主導型の事業所内保育事業を主軸として、多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行い、仕事と子育てとの両立に資することを目的とし、企業主導型保育事業を助成の対象として、これを推進しており、市内で整備の意向がある企業へ国や県からの情報提供を行います。</p> <p>その他、企業にも育児休業制度の拡充や男性の育児参加、長時間労働の解消といった働き方改革の面などでご協力いただけるような働きかけなどにより、待機児童ゼロに向けて取り組んでいきます。</p>
委員からのコメント	
<p>審議会での発言・意見用紙</p> <p>企業がどう関わるのか。企業を巻き込んだ具体的な施策は何かあるか？</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◆】 様々な主体が活躍し	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <hr/> <p>「行政、地域、企業なども一緒になり」に変更します。</p>
委員からのコメント	
<p>審議会での発言・意見用紙</p> <p>様々な主体とは何を指すのか？具体名を明記してはどうか。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◆】 待機児童ゼロをめざし	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <hr/> <p>子育て環境の整備の重要な目標として、「待機児童ゼロ」を指標にも掲げています。</p>
委員からのコメント	
<p>意見用紙</p> <p>唐突に出てくる印象がある。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の◆】	<p>地域で居場所や役割を感じるためには、自分事として、活動に参画することが重要と考えています。</p>
委員からのコメント	
<p>意見用紙</p> <p>なぜ「地域に居場所や役割がある」ためには、「地域の一員として活動に参画し」なければならないのか？</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の◆】 活動に参画し	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	町内会活動やまちづくり協議会の活動などを含め、活動の種類を「子育て・子育て」に特定する必要はないと考えています。
意見用紙 どのような活動か？子育て・子育てのための活動を表現してはどうか。	

#### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の☆】	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	待機児童ゼロも重要な目標ですが、その他の計画もあるため、それを含めた記述として、簡潔に記述しています。
意見用紙 待機児童ゼロを目指すことを簡潔に記述したほうがわかりやすい。	

#### 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
意見用紙 子育てに関する指標を設けることはできないか。	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
	例えば、「子どもに対して、理解のある大人が多いと感じる」など、子どもに向けて質問するものが適当と思いますが、具体的なご提案があれば、お願いします。 素案では、「子どもに対して理解のある大人の割合」と変更しています。

## 目標（6）

### 産業を活性化して、まちを元気にします

#### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 中期では三州瓦に特化した記述はなかったが、後期では三州瓦という名称を上げた記述している。これには何か理由があるのか。	中期基本計画では三州瓦に特化した記載はされていませんが、前期基本計画には三州瓦に対する支援を掲げています。これを踏まえて平成26年度に三州瓦の条例を制定しており、後期はこの流れを継承していきます。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 農業（農地の整備や特産物（ジャンボ落花生）の普及）に関する取組みの記載及び指標を設けてはどうか。	A. 素案を変更します <b>B. 原案どおりとします</b> 農業については、より具体的な成果をトレースできるアクションプラン（重点事業）として取組みを紹介していく。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>審議会での発言</b> まちをあげて瓦をPRしていただいているが、なかなか厳しい現状がある。今後も前向きな考えで施策を進めていただきたい。	産業担当部署だけではなく、「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」の主旨に基づき、高浜市役所全体として瓦産業を支援する体制づくりを推進していきます。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>審議会での発言</b> 若者が起業したくなるように、まちの魅力を発信しながら若者の目線で商売の起点となるポイントができればよい。例えばオニマルシェを広げるなど、高浜らしい取組みを進めてほしい。	若者をはじめとしたより多くの市民が地元に興味を持つきっかけとして実施をしている「鬼みちまつり」や「オニマルシェ」など、高浜の地場産業や地元商店を再発見し、愛着を持ってもらう取組みは今後も継続していきます。そのうえで、それら取組みに参加したいと思った時に参加できる門戸も広げていきます。



## 2. 「この目標が目指す4年後のまちの姿」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【3つ目の◎】 地域資源が掘り起こされ	A. 素案を変更します B. 原案どおりとします
委員からのコメント	地域資源は生活の中に溶け込んでおり、「普通」と感じているものであると考えます。その「普通」が「普通」ではないことに気が付くことが地域資源の発掘といえます。 新しい価値の創造も大切ですが、既存の宝を元に造りだしていくことが「高浜らしさ」につながると考え、「 <u>地域資源を掘り起こし、新たな視点も加え</u> 」に修正します。
意見用紙 これ以上地域資源が掘り起こせるのか？どうやってPRするか、どうやって新たな可能性を生みだすか、ということが重要ではないか。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【3つ目・4つ目の◎】	市内外の交流人口が増加することで新しい視点を得る。そこから素晴らしいアイデアやビジネスチャンスが生まれると考えます。そのためには多くの方が高浜市を訪れて高浜の魅力に触れてもらう必要があります。それが目標(6)の「まちを元気にします」につながり、産業の活性化にもつながると考えます。
委員からのコメント	
意見用紙 産業振興とどう関わりがあるのか。何を目標しているのか、ここで取り上げる理由が必要。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【4つ目の◎】	京都や大阪などの市外からの訪問者に特化した一般的な「観光地」としての位置づけではなく、そこに住んでいる市民もターゲットとした高浜の魅力を再認識し、「住み続けたいくなるまち」としての取組みを述べています。 「寝に帰るだけの街」にせず、「起きていても楽しい街」がまちを元気にすると考えます。
委員からのコメント	
意見用紙 高浜市は観光地としてのイメージが薄いですが、今後市は観光地として誘客していくことを目指していくのか？	

#### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の☆】	<p>企業の新たな設備投資に対して、補助金や奨励金を交付する支援制度や、一定規模を超える工場の敷地内に設ける必要がある緑地面積率の規制緩和などの支援制度を促しています。</p> <p>これらの支援制度のPRの方法としては、窓口や愛知県主催のセミナーでのパンフレットの配布、ホームページでの周知、愛知県のガイドブックに掲載するなど、広くPRしています。</p>
委員からのコメント	
<p><b>審議会での発言</b></p> <p>企業誘致について、高浜に来るとこんなメリットがあるということが、企業に対してわかりやすくPRされるとよい。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
【2つ目の☆】	<p>ありがとうございます。目に触れる機会を増やしてまいります。</p>
「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」	
委員からのコメント	
<p><b>意見用紙</b></p> <p>わかりやすいフレーズなので、いろんなところで目にする機会があるとよい。</p>	

#### 5. 「みんな目指すまちづくり指標」に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b></p> <p>三州瓦に関する指標を設けることはできないか。</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>三州瓦に特化した指標はアクションプラン（重点事業）で表記できるように考えています。</p>

該当箇所	行政の回答・考え方
1) 市内の法人数	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p>
委員からのコメント	<p>雇用の安定と市内の法人数の推移は密接な関係を有していると考えます。また、法人数の増加は産業の活性化の一つの指標としてわかりやすいものであると考えます。</p> <p>「売上げが増加している」に対しての指標としては「モノづくりの街」として工業統計の「工業生産の製造品出荷額等」などが新たな指標としてふさわしいと思われます。（指標の「追加」）</p>
<p><b>意見用紙</b></p> <p>「この目標が目指す4年後のまちの姿」の1つ目で「市内の雇用が安定している」とあり、また2つ目では「売上げが増加しています」とある。そのような姿を目指す指標として「市内の法人数」は適切か？</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
2) 行政がかかわるイベントの来場者数	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	まちの元気度を測る指標として、また多くの方に高浜の地場産業、地元商店を知ってもらったことを測る指標として適切なものであると考えます。
審議会での発言 産業の活性化に直結する指標として適切か。	

## 7. 用語解説

用語	説明書き
優良農地	一団のまとまりのある農地や、農業水利施設の整備等を行ったことによって生産性が向上した農地など、良好な営農条件を備えた農地をいう。
SBP (ソーシャルビジネスプロジェクト)	地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうというもの。 具体的には、高校生が地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業など）と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、その高校生の取組みを地域で応援し支えていこうというもの。

## 目標（7）

### みんなでまちをきれいにします

#### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 中期で記載のある“新エネルギーや省エネルギーなど新たな技術の活用”について、後期で記載をなくした理由は？	後期において、全体構成として“環境美化”の項目を整理（追加記載）するため、中期で記載のあった“新エネルギーや省エネルギーなど新たな技術の活用”は変更しました。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 前期・中期で「環境美化推進員」を増やしてきた背景があると思う。後期では、せっかく増えた「環境美化推進員」がまちをきれいにするために活躍できるための方策が出てきてもよいのではないか。後期で全く出てこなくなると、これまで何のために増やしてきたのか意味がないと感じる。	A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします  「環境美化推進員」に登録をされた団体等はまちづくり指標に掲げなくとも、自主的な環境美化活動を実践されるため、「環境美化推進員」を増やしてきたことは大きな効果であります。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 地域によって環境美化への関心度合いに差が見られるため、どうしたら市全体で取り組めるかについて考えるべきである。	環境美化活動への取組みについては、地域ごとの独自性によって活動内容等に違いがあると認識しています。今後も、地域ごとの独自性を活かした活動や他地域の先進的活動を参考にした横展による活動展開が期待されます。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>審議会での発言</b> ごみだけではなく、雑草もなくしてほしい。雑草があると、そこにごみを捨てる人が増える。	雑草に係る苦情等については、「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」に基づき、土地の管理者に対し、美化活動を含め、適正管理するよう指導しています。



委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>審議会での発言</b> ごみの立ち当番を町内会単位で年に2・3回行っているが、その点をもう少し考える余地があればと思う。	ごみの立ち当番は、町内会のご協力により運営しています。 今後も町内会による持続可能な運営ができるよう町内会と協力し、分別収集拠点の運営方法、拠点数、収集時間、町内会への支援方法などを検討します。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 記載の順番を、①環境に配慮して行動する、②3R活動、③きれいなまち としてはどうか。	<b>A. 素案を変更します</b> <b>B. 原案どおりとします</b> 委員のコメントのとおり、記載の順番を①環境に配慮して行動する、②3R活動、③きれいなまち とします。

#### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
<b>【2つ目の☆】</b> 「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」	心強いコメントをいただきありがとうございます。 今後とも、「みんなでまちをきれいにしよう条例」の普及・啓発に努めていきます。
委員からのコメント	
<b>意見用紙</b> わかりやすいフレーズなので、いろんなところで目にする機会があるとよい。	

#### 5. 「みんな目指すまちづくり指標」に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 「環境美化推進員の人数」を廃止した理由は？これに代わる指標を設ける必要はないか？	<b>A. 素案を変更します</b> <b>B. 原案どおりとします</b> 「環境美化推進員の人数」は、大幅に目標を達成したことから廃止しました。 別の委員からのコメントにもありますが、新たな「環境美化活動」を測る指標を検討します。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> 「美化活動に参加する人の割合」を指標に入れてはどうか。</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>委員からのコメントを採用し、指標を新規に設定します。</p> <p>■新指標 「市民一斉清掃や地域・企業での清掃活動に参加したことのある人の割合」</p>

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>2) 1人1日あたりの家庭ごみ排出量</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p>
<p>委員からのコメント</p> <p><b>意見用紙</b> グラムを単に数字で表すだけではなく、イラストを付けたり、身近なものに例えたりして出すと伝わりやすいのではないか。</p>	<p>委員からのコメントを参考に、現状値の540gから目標値490gの差である△50gがイメージできるイラストや文書を掲載します。</p> <p>■具体例 △50gの目安としては、新聞見開き紙2枚半に相当します。</p>

(8) 題目

自 然 市 階 式 工 業 市 階 式 工 業 市 階 式 工 業 市 階 式

1. 題目全覽

式天字・答回の題目	所屬学科
<p>式天字・答回の題目 A</p>	<p>【★】題目</p>
<p>式天字・答回の題目 B</p> <p>式天字・答回の題目 C</p>	<p>式天字・答回の題目 D</p> <p>式天字・答回の題目 E</p> <p>式天字・答回の題目 F</p>

2. 題目全覽

式天字・答回の題目	所屬学科
<p>式天字・答回の題目 A</p>	<p>【◆】題目</p>
<p>式天字・答回の題目 B</p> <p>式天字・答回の題目 C</p>	<p>式天字・答回の題目 D</p> <p>式天字・答回の題目 E</p>

答回の題目	所屬学科
<p>答回の題目 A</p>	<p>【◆】題目</p>
<p>答回の題目 B</p> <p>答回の題目 C</p>	<p>答回の題目 D</p> <p>答回の題目 E</p>

## 目標（８）

### 自然と都市機能が調和した都市空間をつくります

#### 1. 目標全般に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【目標フレーズ】	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	都市（まち）を形成する要素である自然（緑・水辺など）と人工物（道路・上下水道など）がその個別の役割を備えるとともに、地域の持つ個性を最大限に活かしながら上手く調和することにより、それぞれの良さが上手く融け合い、住む人にとって快適と感じられる都市（まち）の形成を目指すために、本目標フレーズにある表現としたいと考えております。
意見用紙 目標フレーズのいう「自然と都市機能が調和した都市空間」と「まちの姿、考え方、取組み」の内容（道路の保全、水道の耐震化、公園・緑地の管理）とに違いを感じる。 住みやすいまちの実現のため、都市基盤を計画的に整備保全することを表現するものに替えてはどうか。	

#### 3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◆】	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	「快適かつ安全な暮らしを支え、経済活動を活性化できるよう、スムーズに移動できる道を維持するための定期的な調査・点検が必要です。」に修正します。
意見用紙 スムーズに移動できるみちがなぜ必要なのか、理由が明記されていない。	

該当箇所	行政の回答
【1つ目の◆】 道路等の調査・点検を定期的実施し	橋りょうの点検は、法定点検として5年に1度実施することとなっております。また、舗装点検については、幹線道路を5年～10年程度の周期で、点検車を走らせて舗装の状態を点検してまいります。
委員からのコメント 意見用紙 「定期的に」とはどの程度のインターバルなのか。	



## 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
1) 道路の長寿命化を計画的に実施した割合（幹線道路の舗装）	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	市内には、愛知県が管理する県道や港湾道路、個人の私有道路などがあり、その区分は一般の人には分かりづらいため、市が主体として実施している事業計画の進捗としました。
<b>意見用紙</b> わかりにくいので、「道路がしっかりと整備されていると思う人の割合」としてはどうか。	

該当箇所	行政の回答・考え方
2) 配水管の耐震化率	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	中期基本計画の「こんなことに取り組みます！」の中に「ライフラインの整備など、都市空間の快適さや安全性」といった記述があります。 数多いライフラインを対象にしていることから、目標が漠然としているため、市民生活に密接な水道をクローズアップし、新たに「みんなで目指すまちづくり指標」に安全性を示す「配水管の耐震化率」を加えました。 耐震化率の状況は、近隣市（碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市）5市の内3番目に位置します。
<b>意見用紙</b> ・いきなり出てくるように感じる。 ・県内の中で高いのか低いのか。	

該当箇所	行政の回答・考え方
3) 公園・緑地・稗田川の水辺・港湾緑地等を利用している人の割合	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用頻度については、市民意識調査の設問において「週1回以上」と付記します。</li> <li>・緑地は大山緑地（大山公園）が該当します。港湾緑地は、芳川町（安立荘北）にある高浜芳川多目的広場です。こちらについては、用語解説等で説明するとともに、市民意識調査においてはその旨を設問に付記します。</li> </ul>
<b>意見用紙</b> ・利用の頻度を設定してはどうか。（例えば週1回以上利用している人 など） ・“緑地”“港湾緑地”とは具体的にどこのことなのか。一般市民にはわからないのではないか。	

## 7. 用語解説

用語	説明書き
ライフライン	電気、上下水道、ガス、電話など日常生活に不可欠な線や管で結ばれたシステムの総称
布設替え	既存の管を撤去し、新しい管を入れ直すこと
港湾緑地	港湾行政における就労環境の向上並びに良好な自然環境の保全、向上に資するための緑地 例えば「高浜芳川多目的広場」となります。

もとの製造(1) (2) 製造(2) 製造(3) 製造(4) 製造(5)

製造(1) 製造(2) 製造(3) 製造(4) 製造(5) 製造(6) 製造(7) 製造(8) 製造(9) 製造(10)

製造(1) 製造(2) 製造(3) 製造(4) 製造(5)

製造(1) 製造(2)

製造(1) 製造(2)

製造(1) 製造(2) 製造(3) 製造(4) 製造(5) 製造(6) 製造(7) 製造(8) 製造(9) 製造(10)

製造(1) 製造(2) 製造(3) 製造(4) 製造(5) 製造(6) 製造(7) 製造(8) 製造(9) 製造(10)

製造(1) 製造(2)

製造(1) 製造(2)

製造(1) 製造(2) 製造(3) 製造(4) 製造(5) 製造(6) 製造(7) 製造(8) 製造(9) 製造(10)

製造(1) 製造(2) 製造(3) 製造(4) 製造(5) 製造(6) 製造(7) 製造(8) 製造(9) 製造(10)

## 目標（9）

安全・安心が実感できるまちづくりを進めます

### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> 市では現在空き家対策を検討していると思うが、その点については触れなくてもよいか。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災、防犯上の観点からも、空き家対策は必要な取組みの一つであると認識しています。</li><li>・今後、「空き家等対策計画」の策定を予定しており、計画に基づき各種施策を実施していく予定です。計画の策定を踏まえ、必要に応じ、防災、防犯対策の一つとして、アクションプランに反映させていきたい。</li></ul>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b> 「自助」「共助」「公助」というフレーズがあるが、参加する人がいろいろな面で減っている。何かあった時は自分たちが動かないといけないんだ、という認識を持ってもらえるような広報活動をもっとしていくべきではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・特効薬はない状況ですが、町内会の班長会、防災講話、広報、ホームページ、防災メール、地域防災リーダー養成講座などを通じ、今後も地道に「自助」「共助」に基づく取組みの重要性や防災訓練への参加など、広報活動に努めていきたい。</li><li>・加えて、情報が伝わりにくい町内会未加入世帯には、年2回のゴミ袋配布時に「自助」「共助」の取組み、自主防災組織の要である町内会への加入を促すチラシを配布するなど、広報活動を継続的に実施していきたい。</li></ul>



委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> ミサイル発射に対する訓練を行う予定はあるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Jアラート（全国瞬時警報システム）に関する説明やミサイル発射時の避難方法などについて、ホームページなどを通じ周知を図っているが、県内の他の自治体も含め、訓練は実施していない状況です。</li> <li>・ 訓練の実施にあたっては、愛知県や西三河の自治体などと連携を図りながら、広域的に取り組んでいくことも必要です。</li> <li>・ 現段階では、本市単独での訓練の実施予定はないですが、定例的に実施されるまちづくり協議会のグループ会議などで、市民の皆さまの意見も聞きながら、例えば、次年度の総合防災訓練などでの実施も踏まえ、検討を重ねていきたい。</li> </ul>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> 防災と防犯・交通安全を同じスタンスで語ってよいのか。 防災は自助、共助、公助が良いが、防犯・交通安全は予防がメインのような気がする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯対策や交通安全対策も、行政が行う対策だけでは限界があり、防災と同様に「自助」「共助」「公助」の考えに基づく役割分担と連携強化が重要であると考えます。</li> <li>・ 第6次総合計画推進会議において、中川会長より「犯罪発生件数と交通事故発生件数の減少は、行政の取組みだけでなく、“地域力”があっこそその減少である。」とのコメントを頂戴しています。まさに「共助」の取組みであり、「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」でも、「市」「市民及び市民団体」「事業者」の責務が謳われており、相互の役割分担と連携体制を強化していくことが重要であると考えます。</li> </ul>

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【目標フレーズ】 「安全・安心が実感できる地域づくりを進めます」</p>	<p>A. <b>素案を変更します</b>      B. 原案どおりとします</p>
<p>委員からのコメント <b>意見用紙</b> 前期では“基盤づくりを進めます”、中期では“地域づくりを進めます”とステップアップしてきた感じがするが、後期ではそのままなのか。</p>	<p>誰もが安全で安心だと実感できるための、 前期 → 中期 → 後期の目標イメージ ①基盤となる根っこをつくり、(前期) ②根をはり、“地域”という枝となり、(中期) ③枝が増え、“高浜市”という大きな木となる。(後期) 上記の考えから、<u>目標フレーズを「安全・安心が実感できるまちづくりを進めます」に変更します。</u></p>

### 3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【2つ目の◆】 防災力や防犯力を高め</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前述の中川会長のコメントにもあるとおり、青色防犯パトロール、徒歩パトロール、防犯戸別訪問の実施など、多くの市民が防犯活動に参画し、防犯に対する地域力も高まっており、他の自治体と比較しても、市民の関心が低いとは認識していません。</li> <li>・愛知県警のメールマガジン「パトネットあいち」への登録の呼びかけやホームページ等での犯罪発生状況や対策の周知など、今後も市民の防犯意識が高まるような対策を、地域や警察などと連携しながら推進していきたい。</li> </ul>
<p>委員からのコメント</p>	
<p>意見用紙 実感として防災の関心は高まっていると感じるが、防犯への関心の高まりをあまり感じない。</p>	

### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【1つ目の☆】 誰も防ぐことができない自然災害に対し</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害は、誰も防ぐことができないことは、広く市民に理解されていることから、「誰も防ぐことができない」を削除します。</li> </ul>
<p>委員からのコメント</p>	
<p>審議会での発言・意見用紙 「誰も防ぐことができない」の部分は不要ではないか。防ぐために国・県・市が努力している。</p>	

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【2つ目の☆】 「高浜市みんなて犯罪のないまちにしよう条例」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種防犯対策に取り組む中で、チラシや啓発品を配布するだけでなく、条例の目的や概要についても、広く市民に周知を図り、市民一人ひとりの防犯意識の高揚に努めていきたい。</li> </ul>
<p>委員からのコメント</p>	
<p>意見用紙 わかりやすいフレーズなので、いろんなところで目にする機会があるとよい。</p>	

## 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【みんなで目指すまちづくり指標】 1) 地震や風水害に対する備え（食糧や飲料水の備蓄、防災訓練時のタオル掛けなど）ができていると思う人の割合</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員からの意見を踏まえ、より具体性のある指標に変更します。</li> <li>食糧や飲料水の備蓄は大切ですが、自身や家族の身の安全を守るための対策が最優先であるとの考えから、防災・減災に関連するまちづくり指標としては、次の2指標としたい。</li> </ul>
<p>委員からのコメント</p>	
<p>審議会での発言・意見用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「備え」というのが、例えば備蓄の量にしても、人によってこれだけあれば十分だという量のイメージは異なるので、曖昧になりそうな気がする。例えば、「防災訓練に参加したことがある人の割合」というような指標もいいのではないか。</li> <li>防災訓練時のタオル掛けだけレベルが少し違うのではないか。安否確認ということだと思うが、タオル掛けが備蓄と同じレベルにあることに少し違和感を感じる。</li> <li>タオル掛けについて、地域（町内会）での取組みに差があり、統一されていない。</li> </ul>	<p>①「家具を固定している人の割合」 ②「防災訓練に参加したことがある人の割合」</p>

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【みんなで目指すまちづくり指標】 2) 人口1,000人当たりの犯罪発生件数 3) 人口1,000人当たりの交通事故発生件数</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>グラフを掲載することで、推移も分かりやすくなることから、中期計画と同様に折れ線グラフを掲載します。</li> </ul>
<p>委員からのコメント</p>	
<p>意見用紙 中期同様、愛知県の最新データがあるとわかりやすい。（説明文だけでもよい。）</p>	

## 7. 用語解説

用語	説明書き
特殊詐欺	振り込め詐欺とそれに類似する手口の詐欺の総称

## 目標（10）

一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます

### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b></p> <p>・施策の内容が幅広く、4年後のまちの姿と結びつきにくい部分があるため、見せ方を工夫してはどうか。</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p> <p>別添素案のとおり、構成を全体的に構成し直します。</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b></p> <p>福祉の観点から、外国人をターゲットにした視点・施策を入れるべきではないか。</p>	<p>地域福祉の分野においては、日本人・外国人を区別することなく、住民全体にサービスが行き届くよう対応しています。</p>

### 2. 「この目標が目指す4年後のまちの姿」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【1つ目から3つ目の◎】</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p>
<p>委員からのコメント</p> <p><b>意見用紙</b></p> <p>サービスの提供という観点では同じもの。まとめることはできないのか。</p>	<p>「相談体制の強化」・「ニーズに応じたサービスの提供」・「人材の育成」の3つの視点で構成し直します。</p>

該当箇所	行政の回答・考え方
<p>【4つ目の◎】</p>	<p>A. 素案を変更します      B. 原案どおりとします</p>
<p>委員からのコメント</p> <p><b>意見用紙</b></p> <p>認知症と障がい者をここで取り出した理由は何か。後期で力を入れる事柄ならば、その旨を表記すべき。</p>	<p>上記回答に同じ。</p>



### 3. 「目標達成に向けての考え方」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【前文】	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	前期⇒中期⇒後期と益々複雑化しているという意味で記述しています。例えば、育児と介護のダブルケアといった課題など、新たな課題もあります。こうした複数の課題を包括的に対応するため、後期においては、「相談体制の強化」・「ニーズに応じたサービスの提供」・「人材の育成」の3つの視点で事業に取り組みます。
意見用紙 年々複雑で困難なものになっているのは、後期になって顕在化した？前期、中期との違いを記述することで計画の継続性が出てくるのでは。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の◆】 医療、介護、行政、企業、市民など	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	記載内容を「ケアを必要とする人やその家族を支援する多様な人材が育成されていることが必要です。」に変更します。
意見用紙 市民をはじめに記載するべきではないか。	

### 4. 「こんなことに取り組みます！」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
【1つ目の☆】	A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/>
委員からのコメント	「相談体制の強化」・「ニーズに応じたサービスの提供」・「人材の育成」の3つの視点で構成し直します。事業の詳細はアクションプランにおいて記述します。
意見用紙 どのように「在宅医療と介護の連携を進める」のかが記述されていない。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【5つ目の☆】	高浜小学校区では、町内会を中心に避難行動要支援者の個別計画の策定を進めました。一方、避難行動要支援者名簿をもとに、総合防災訓練において、町内会単位で安否確認訓練を実施している小学校区もあります。計画策定から進めるか、安否確認等訓練から始めるか、地域の実情に応じた避難行動要支援者支援の取組みが行われています。
委員からのコメント	
<b>審議会での発言</b> 避難行動要支援者の支援体制について、高浜小学校区が最も市内で進んでいると聞いているが、他の学区の進捗状況が全く見えないため、どのくらい進捗に差があるのかが気になる。	

該当箇所	行政の回答・考え方
【5つ目の☆】	<input type="checkbox"/> A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします
委員からのコメント	高浜市地域防災計画において、「避難行動要支援者」の範囲を、要介護3以上、障がい者手帳所持者等と規定しており、支援対象者の範囲は、他の取組みと異なりません。 構成は、「相談体制の強化」・「ニーズに応じたサービスの提供」・「人材の育成」の3つの視点で構成し直しています。
<b>意見用紙</b> 避難行動要支援者がいきなり出てくる印象がある。他の取組みに比べ異質。	

## 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

該当箇所	行政の回答・考え方
1) いきいき広場（総合相談窓口）を知っている人の割合	<input type="checkbox"/> A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします
委員からのコメント	3つの視点のうち、「相談体制の強化」に連動した指標であると考えます。
<b>意見用紙</b> 目標達成を見るにあたり、この指標はどの取組みと連動しているのか、わからない。総合相談窓口とは何かを説明する必要がある。	

該当箇所	行政の回答・考え方
3)高浜市内でボランティア活動に参加したことがある人の割合	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/>
委員からのコメント	市民意識調査実施の際に、ボランティア活動の例を明示します。
意見用紙 ボランティア活動もいろいろあると思うので、〇〇のボランティアと絞った方がよいのでは。	

## 7. 用語解説

用語	説明書き
避難行動要支援者	避難行動に支援が必要な方。高浜市地域防災計画において対象者の範囲を、「①75歳以上の単身高齢者又は75歳以上の高齢者のみの世帯②介護保険法における要介護度3以上の認定者③身体障害者手帳1級又は2級を所持する者。ただし、肢体不自由の場合は、3級の者も含む。④療育手帳A又はBを所持する者⑤精神障害者保健福祉手帳1級を所持する者⑥難病患者⑦上記以外の市民で、本人、家族親族、避難支援等関係者又は市の関係機関からの申出に基づき、災害時に避難行動要支援者であると市長が認めるもの」と規定している。

## 目標（11）

一人ひとりの元気と健康づくりを応援します

### 1. 目標全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> 健康寿命を延伸させることを大きな目標と捉え、「この目標が目指す4年後のまちの姿」に“健康寿命が延びています”という旨を記載してはどうか。</p>	<p>A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>自身の健康状態の把握、健康づくり活動への積極的な参加をする人が増えることで、長期的な視点での効果として、健康寿命が延びることを期待しています。</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> 一見高齢者の方を対象としているように見えるが、実際は市民全員が対象となるため、そういったニュアンスを文言に含めていくべきである。</p>	<p>A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/></p> <p>「この目標が目指す4年後のまちの姿」や「こんなことに取り組みます」で、若いうちから健康づくりに取り組むことを目指す文言を記載します。（「目標達成に向けての考え方」では記載済み）</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>意見用紙</b> ここで取り上げている内容は、中期計画と変わらない。 前期、中期と来て、後期ではここをやるという記述が欲しい。 7年間の成果が感じられる内容が必要ではないか。</p>	<p>A. 素案を変更します <input checked="" type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input type="checkbox"/></p> <p>高齢者が中心であった中期までに加え、新たに若い世代の健康づくりや、自身の健康づくりだけでなく担い手として活躍する人を増やしていく取組みを進めていきます。</p>



## 5. 「みんなで目指すまちづくり指標」に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 健康寿命の延伸を測る指標を設けることはできないか。	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/> 日常的な外出や運動、かかりつけ医を持つことが、健康寿命の延伸につながるものと考えます。

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<b>意見用紙</b> 「健康診断を受けている人の割合」という指標を設けてはどうか。	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/> かかりつけ医を持つことが健康診断の受診率向上につながるものと考えます。

該当箇所	行政の回答・考え方
1) 日常的に外出や運動を楽しんでいる人の割合	A. 素案を変更します <input type="checkbox"/> B. 原案どおりとします <input checked="" type="checkbox"/> 市民意識調査実施の際に、「概ね週〇回以上」という説明を加えます。
<b>委員からのコメント</b> <b>意見用紙</b> 具体的に「週に〇回以上」など、範囲を設定してはどうか。	

## 7. 用語解説

用語	説明書き
地域包括ケア	重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み。
健康自生地	高齢者の皆さんが家に閉じこもることなく、いきいきとした生活を送ることができるよう、皆さんが自ら出かけたくなるような場所で、各種活動や、地域の皆さんとの交流ができる場所。各健康自生地の運営は、地域の皆さんが自主的・主体的に行っている。(商標登録第 5486837 号)



## 計画全般に対するコメント

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b>            計画を一通り読むと、PRやアナウンスの仕方に工夫が必要という文言が出てくる。これからは、一生懸命やっていることをいかに市民の方に伝えるかということが非常に重要になってくるため、そのことをうまい表現で全体的に入れてほしい。当然アナウンスをしていないと、市が何をやっているのか知らない人の方が多いと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、市が力を入れて取り組んでいる事柄などの、市民の方へのPRや情報発信の強化については、市全体における重要な課題となっています。計画書内（第4章：計画の進行管理）において、積極的な情報発信を行うとともに、市民と行政がお互いの考えをしっかりと理解できるよう、高浜市自治基本条例においてまちづくりの基本原則にも掲げられている「情報共有」に、さらに力を入れて取り組んでいく旨を記載します。</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b>            何がどのように変化していくのかを、もう少しページの中で示すことが可能なのではないか。例えば「目標達成に向けての考え方」の前文で、前期、中期の積み残しを示し、それを踏まえて後期ではこういった課題に向かいたいというようなことが、もう少し読み取れてしかるべきではないか。</p>	<p>後期基本計画は、第6次総合計画の締めくくりの計画としてだけではなく、第7次につないでいくという点においても重要な位置付けとなります。その点からも、委員のご意見については、大変重要な視点であると考えます。            「後期基本計画の位置付け」について、計画書内（表紙の裏面）に記載します。</p>

委員からのコメント	行政の回答・考え方
<p><b>審議会での発言</b>            目標によっては、「こんなことに取り組めます！」の具体性に欠けるところが見られる。書きづらい部分もあると思うが、わかりやすいものを作っていただきたい。</p>	<p>「こんなことに取り組めます！」では、課題を解決し、目標を達成するための取組みの方向性を示すこととし、具体的な取組み内容については、アクションプランで掲げることとします。</p>